

Acueil News

アクイール ニュース

令和6年10月号(第128号)

編集・発行

特別養護老人ホームアクイール

広報委員 担当 今井

我孫子市岡発戸1498

☎04-7165-6511



アクイールの秋まつり



毎年、8月に行われていた夏まつりですが、ここ数年の猛暑の影響もあり、ご入居者の気候の良い時期に企画いたしました。10月後半だというのに30℃近くの気温上昇、異常気象だといいますが、ご入居者にとっては、寒いよりは暖かい方が断然よく…しかし、暑すぎました…。いつの季節がみなさんにとって良いのか今後も悩みます…

演目では、オープニング 呼魂太鼓さんの魂を呼び起こす鼓動で、皆が一体になって楽しみました。湖北台ダンス研究会さんは、どのダンスも魅力的で、生き生きしている姿を見て羨ましいと感じました。

川上職員のエレクトーン演奏は、優しい音色で気持ちが穏やかになりました。浅海職員のネイルサロンは、みなさん、綺麗に仕上がった爪を見て明るい幸せな表情をされていました。よさこい～志(こころざし)～さんは、「人生一度きり楽しまなきゃ損」をスローガンに掲げている通り、アクイールのご入居者・ご家族・職員に元気をくださいました。その他、お店を出して下さった方々も含め、ご協力ありがとうございました。

Abiko carry Cafe さん
Snow Kotan さん

みずきさん
けやきさん
ウィングさん
虹さん



「てる美容室」「Do ONE's HAIR ルック」

アクイール創立時から、散髪で訪問して下さっています。若干緊張されているご入居者に、いつも丁寧に声をかけてくださるので、髪がすっきりと整った後には、みなさんの表情も清々しい笑顔に変わっています。理容師さん美容師さんはよく、最近のご老人がたは、「髪の毛が多く 艶もあり 立派だ」とおっしゃいます。たしかに、白髪の下から黒髪が生えてくる方もいらっしゃいます・・・
ご入居者に「今日は髪の毛を切る日ですよ」と声をかけると、みなさん「うれしい」と満面の笑みを返して下さいます。

外見も 内面も
リフレッシュの時間



ご入居者・職員が「いきいき」と



私たちは、ご入居者の皆様がアクイールでその人らしい生活を続けていただけるよう、日々業務改善に取り組み、サービスの質向上に努めています。限られた職員数でより良いケアを提供するために、ロボット・センサー・ICT を上手に活用することが求められているなか、アクイールではタブレットを使用し、記録を電子化することで情報共有の時間短縮を図ったり、睡眠状態をモニターで確認できる「眠りスキャン」、コミュニケーションロボット「パルロ」を活用して職員負担を軽減する等、生産性向上を推進しています。

救命講習会

7名の職員が参加しました。心肺蘇生のやり方・AED(体外式除細動器)の使い方・安楽な姿勢のとりかた・圧迫止血方法 異物除去方法を学びました。我孫子市の救急要請は、25年前は2000件ほどでしたが、令和6年の今年は既に 7000 件を超えているそうです。救急車は、救急要請をしてから平均9分で到着。たしかにアクイールでも、救急要請し準備しているうちにあっという間に救急車が到着します。心肺蘇生は、いかに、強く(5cmぐらい・胸の厚みの3分の1まで押す)早く・絶え間なく が大事。蘇生を続ける事で、脳に血流を送り、脳を守る事ができるという事です。施設の中だけでなく、普段の日常生活の中で助けを求めている人がいた時には、『とにかく、勇気をもって近づき、手を差し伸べてほしい』と救急隊の方がおっしゃっていました。



柴崎台出身の新しい仲間が増えました。
メダカ チョウセンブナ 日本ウナギ がアクイールにいらっしやいました。メダカは、赤ちゃんも一緒に入っており、とてもかわいいです。チョウセンブナは2匹なので、たくさん食べさせて、水槽いっぱい大きく成長させたいと思います。日本ウナギは、普段は筒の中から、顔と尻尾を出し、ごはんを食べる時だけ姿を見せてくれますが、アクイールに来たはじめての夜に、水槽から飛び出してしまいました。偶然、職員が見つけたことには至りませんでした。が、びっくりしました。



メダカ



チョウセンブナ



日本ウナギ



季節外れの 朝顔



こまちとゆうぜんの中庭に朝顔が咲いています。季節外れと書いてしまいましたが、朝顔は、早咲き・遅咲き・種類からも7月～11月まで楽しむことができるそうです。調べたところ、この写真の朝顔は、花びらに線が入っているので「曙白あさがお」でしょうか。

10月15日撮影しました

